

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新設特別支援学校(井手地区)	階数	地上4F
建設地	京都府綴喜郡井手町大字井手小字	構造	RC造
用途地域	地区計画区域	平均居住人員	350 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2021年6月12日
敷地面積	21,636㎡	作成者	(株)大建設計 松岡
建築面積	5,950㎡	確認日	2021年6月12日
延床面積	14,097㎡	確認者	(株)大建設計 松岡



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.6</b></p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> のスコア = 3.6</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア= 3.3</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア= 3.6</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア= 3.9</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.4</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア= 3.4</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア= 3.7</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア= 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>周囲の山並みや河川への眺望を損なわない建物高さ、デザインとし、近隣へ配慮した親しみもてる建物とした。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>0</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>各教室は間口を広くとり、昼光率5.1を確保した。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>各教室の天井高さは2.7mを確保し、階高にゆとりを持たせている。また、支援学校であるため、耐久性や防汚性、清掃の容易さにも最大限配慮している。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>植栽による良好な景観形成を行っている。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>トアライトを設けることで、エネルギーの削減を行った。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>RC躯体と内装仕上げは容易に分別可能な取組みとし、資源の再生利用可能性の向上に寄与している。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>周囲との調和を考慮し、外構にはほとんど照明を計画していない。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される